

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズライン【児童発達支援】		
○保護者評価実施期間	令和7年12月4日	～	令和7年12月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年12月4日	～	令和7年12月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月28日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりに合わせた丁寧な個別支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1対1の個別支援を基本とし、子どもの特性や理解の仕方に合わせた課題やプログラムを毎回準備している。</li> <li>・初回のアセスメントや日々の支援記録、保護者からの聞き取りなどをもとに個別支援計画を作成し、半年ごとに見直している。</li> <li>・支援会議を通して児童発達支援管理責任者と担当支援員が内容を検討し、支援の方向性を共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じてフォーマルなアセスメントの活用を検討し、より客観的な視点から支援内容を検討できる体制を整える。</li> <li>・支援記録や教材の共有をさらに進め、職員間での知見の蓄積や支援の質の向上につなげていく。</li> </ul>
2	子どもが落ち着いて過ごせる構造化された環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導ができる個室を用意し、子どもの特性や活動内容に応じて部屋を使い分けている。</li> <li>・収納や整理整頓を行い、必要に応じてパーティションなどを使用して集中しやすい環境を整えている。</li> <li>・絵や文字を使った説明など、子どもが理解しやすい伝え方を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文具棚や荷物置き場などの配置を見直し、子どもや職員がより使いやすい環境づくりを進める。</li> <li>・環境設定の意図や工夫を保護者にもわかりやすく伝える機会を増やし、支援への理解を深めてもらう。</li> </ul>
3	保護者との連携と相談しやすい支援体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の支援後にフィードバックの時間を設け、家庭での様子や困りごとを共有している。</li> <li>・児童発達支援管理責任者や担当支援員が保護者からの相談に随時対応し、必要に応じて園や関係機関とも連携している。</li> <li>・ペアレントトレーニングや研修会など、保護者向けの支援も実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向け研修会や座談会を継続的に実施し、学びや情報共有の機会を増やす。</li> <li>・保護者同士が交流できる場や、きょうだい児も参加できる機会についてニーズを確認しながら検討する。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員体制や業務負担への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援のため、担当支援員が休んだ場合の対応が難しくなることがある。</li> <li>・日々の指導や教材準備などの業務量が多く、環境整備や振り返りに十分な時間を確保しにくい場合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援内容や教材の共有を進め、担当以外の職員でも対応しやすい体制を整える。</li> <li>・業務の優先順位や分担を整理し、職員が余裕を持って支援に取り組みやすい環境づくりを進める。</li> </ul>
2	地域との連携や支援体制の見える化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との関わり方や他機関との連携体制について、十分に整理・共有されていない部分がある。</li> <li>・現在の連携の状況や役割分担が、資料などで明確に示されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力機関や支援体制について整理し、図や資料などでわかりやすく示す。</li> <li>・必要に応じて地域の関係機関との連携のあり方を検討し、子どもの成長を支えるネットワークづくりを進める。</li> </ul>
3	保護者交流や地域交流の機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士が交流できる機会や、きょうだい児も参加できる活動が十分に整っていない。</li> <li>・地域の子どもの交流の機会についても、現在は実施していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会や座談会など、保護者同士が交流できる機会を計画的に設ける。</li> <li>・きょうだい児も参加できるイベントや活動について検討する。</li> <li>・利用者や保護者のニーズを確認しながら、地域との交流のあり方を検討していく。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	キッズライン【児童発達支援】					公表日	令和8年3月28日	
					利用児童数	23	回収数	16
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	94%	6%	0%	0%	課題や用具が整備されていて、安全管理も行き届いているので安心です。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%	1人ひとりを丁寧にみてくださり、課題も実態に応じて提供頂けるのでとてもありがたいです。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	78%	11%	6%	6%	こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思います。配置など工夫されているのかもしれませんが、よく分かっていません。視覚優位の子供なので、課題の出し方やどのくらい課題をしたら自由遊びができるかが分かりやすく落ちついて過ごせています。	バリアフリーの構造になっていないので、利用者のみなさんの階段の上り下りなどは引き続き支援員が見守るようにして、安全に過ごせるようにします。段差や階段などに、貼り紙をするなどして、引き続き注意を呼びかけます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	毎回フィードバックでの相談が次回に取り入れられていて助かっています。どの先生に子どもの心配事等の質問をしても「〇〇に確認して後日お答えします」という事が無く、すぐにお返事が頂けるのが素晴らしいと思います。親も大変安心できますし、この環境にいられる事が有難いです。通っている療育施設の中で、唯一専門的な療育が受けられていると感じています。担任制なのも良いです。いつも相談があると、丁寧な回答を頂き大変心強いです。先生方皆さん子供の特性を理解し接してくれ、保護者へのサポートが充実しています。困りごとを等聞き取り、授業内で適切に支援してくれま	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		『児童発達支援ガイドライン』が定める5領域に則した支援内容をまとめた「支援プログラム」をホームページに公表しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	94%	6%	0%	0%	子どもの担当の先生だけではなく、説明して下さる先生も子どもの事を見ていかの様に詳しく教えて下さり、すごいなと思います。別の療育施設に体験に行った時は一方的な授業で授業の凄さをアピールされているだけに感じましたが、キッズラインは子どもそれぞれに合わせた授業内容で、親からもしっかり聞き取りをしたうえで授業を組み立ててくれるところがとても良いと思います。	お子さんの個別支援での様子やその記録、保護者の方から、利用時やモニタリングでうかがう日常での様子やご要望などをもとに、個別支援計画を作成しています。ご本人、保護者の方のニーズを反映した計画づくりを心がけます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	89%	11%	0%	0%		支援計画には、「本人支援」と「家族支援」「移行支援」の項目を設けています。計画のご説明の時に、改めてお伝えしていきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	94%	6%	0%	0%	親が気になる所などを柔軟に受け入れてプログラムに組み込んでくださり助かります。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	56%	6%	33%	6%	必要性を特に感じていません。	地域で他の子どもと交流する機会はありません。今後、利用者の方のニーズと合わせて必要性を検討します。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	94%	0%	0%	6%	ペアレント・トレーニングで得た知識を活かして、家庭でも実践できたのでとてもありがたかったです。	ご希望の方には、全13回の、お子さんへの接し方に関するe-learning講座と療育体験を提供します。昨年度、今年度と、ご家族向けの研修会、座談会を年1回ずつ開催しました。定期的に保護者向けの研修会等を開催できるようにします。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	94%	6%	0%	0%		少なくとも半年に1回、モニタリングを行い、保護者の方のニーズなどを伺っています。保護者の皆さんが相談しやすい環境づくりに努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	83%	17%	0%	0%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94%	6%	0%	0%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11%	17%	17%	56%	保護者同士の交流の機会や、きょうだい児向けの交流の機会があると尚嬉しいです。保護者会は無かったです。相談には乗ってもらっています。	今年度は、保護者の方の座談会を2回開催しました。保護者会、きょうだい向けのイベント等については、皆さんのニーズをうかがいながら検討します。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	89%	6%	0%	6%	もしかしたら知らないだけかもしれません。	契約時に「通所のしおり」を確認しながら、苦情相談に関する内部の窓口、行政機関の窓口をご案内しています。教室と見学室の玄関に「福祉調整委員会」のポスターを貼っていますのでこちらもご参照ください。苦情相談があった場合は、迅速に対応するようにします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	89%	0%	6%	6%		避難訓練等の実施については、LINEでお伝えしています。ニュースターを定期的に発行できるように努めます。業務に関する自己評価は、ホームページに公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%	0%	0%	0%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	94%	6%	0%	0%		地震・津波、火災、水害の避難訓練を年1回ずつ行っています。来年度も安全計画に基づいて訓練を実施します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	67%	6%	0%	28%		支援時間中の事故や怪我等は、発生状況、対応などについて、その日のうちに保護者の方に知らせています。今後も迅速な対応と丁寧な説明を心がけます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	園に行きたくない！習い事行かない！等朝に言う事がたまにありますが、キッズラインに行きたくない！と聞いた事がないです。きっと居心地が良いのだと思います。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	94%	6%	0%	0%	いつも楽しく通っています。毎回の通所を楽しみにしていて、キッズラインがある日はランランで家をでてきます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	94%	6%	0%	0%	こちらにお世話になり始めて、子どもは勿論、親も日々少しずつ過ごしやすくなりました。いつも温かい支援をして頂き、本当にありがとうございます。いつもありがとうございます。キッズラインの先生方には本当にお世話になっていて、感謝の気持ちでいっぱいです。	

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	キッズライン【児童発達支援】		公表日		令和8年3月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	個別指導を行うことのできる個室があり、子どもの様子に合わせて部屋の割り当てをしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	1対1の個別支援を提供している。	担当支援員が休む場合の対応が大変なことがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	子どもが過ごしやすいように収納や整理を行っている。子供の様子に合わせて、パーティションなどを使用して環境を調整している。バリアフリーではないが、注意喚起の張り紙をしたり支援員がその都度見守ったりしている。	文具棚や荷物置き場について、さらに使いやすい配置を検討できるとよい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	子供や保護者が過ごす場所や触れる場所の清掃を定期的に行っている。利用者の人数、特徴、活動の内容などに合わせて部屋を使い分けている。	窓や棚の拭き掃除をより丁寧に行うなどして、清潔に保てると良い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個室を使用して個別支援を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	定期的にスタッフミーティングや支援会議を行っている。支援の記録と振り返りを毎回行い、プログラムの更新や子どもへの対応の検討を行っている。	日々の指導や教材準備に追われて意識が回らないことはある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者に定期的に事業所評価を依頼し、課題を見つけて改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定期的にスタッフミーティングを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		外部評価が必要かどうか、必要な場合はその方法を検討しなければならない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	外部研修などの情報が周知され、希望に応じた受講の機会がある。内部研修を定期的に行っている。全員が動画を視聴した性教育の講演は、とてもためになったのでよかった。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	個別プログラムを毎回準備し、内容を保護者に伝えている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	初回にカリキュラムベースのアセスメントを行なっている。また、日々の支援がアセスメントを兼ねていて、記録を元に次の計画を立てられるようになっている。保護者からはモニタリングの時に、日常の様子やニーズを聞いている。半年に1回、子供の様子や保護者のニーズ、今後の目標について話し合い、計画を立て直している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児発管と担当支援員が支援会議を行い、内容を踏まえた支援計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	担当支援員も支援計画を作る時期の支援会議に参加し、共有された計画に合わせてプログラムを組んでいる。また、支援の記録に使用するデータベースに最新の目標が反映されていて、随時確認しながら支援を行うことができている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	必要や希望に応じてフォーマルなアセスメントを行っている。日々行動観察を行い、記録し、対応を検討している。	フォーマルなアセスメントが必要か検討できるとよい。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	「地域支援・地域連携」の部分は「家族支援」「移行支援」に含む形で記載している。子どもの様子や保護者のニーズに合わせて支援の内容を検討している。保護者の相談に応じ、必要に応じて保育園や幼稚園との連携を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	支援会議の内容を踏まえて担当支援員がプログラムを立案している。担当が他のスタッフに気軽に相談できる体制がある。支援記録を共有することで他の支援員の取り組みや教材を参考にでき、担当が半年ごとに変わることで多様な視点からの支援が可能となっている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	様々な領域から子どもに合わせた多様な活動を準備している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	幼児に対しては個別支援のみ行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎日2回のブリーフミーティングを行い、その日の予定や役割分担、注意事項について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	7	正式な打ち合わせは実施していないが、気づきや共有事項はチャットツールや口頭で随時伝達している。担当支援員が毎回支援の振り返りを記録・共有し、必要に応じて当日または次回に向けて職員間で相談を行うなど、支援の改善に努めている。	毎回行っていない。その日のうちに打ち合わせが必要かどうか検討したい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	毎回の支援の記録が徹底されていて、必要な対応を職員間で検討、共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にモニタリングや、児発管と担当支援員での支援会議を行い、支援計画を作成している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児発管が参加する機会が多いが、事前に担当支援員と利用者の情報を共有したり、支援の様子を観察したりしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	主に管理者や児発管が、地域の関係機関との連携や調整を行っている。	協力機関や支援体制について、明文化、図式化できるとよいかもしれない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	児発管が幼稚園を訪問したり、保育園の先生を含めた会議に出席したりしている。必要に応じて他機関と情報を共有し合い、支援の内容や方向について確認している。	現状を把握していない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	保護者の希望に応じて、就学先への書面での情報共有を行なっている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-	-		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-		
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4	横浜市が行っている研修の参加の機会がある。		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	保育園や幼稚園に通っている子どもが多いので、ニーズがなさそう。		

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	支援の内容について担当支援員からフィードバックの時間を毎回設けている。児発管が保護者と話す機会を設けている。家庭での様子を聞き、課題に対する対応策と一緒に検討している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	ペアスーク(ペアレントトレーニング)を提供している。進路に関する研修会を保護者に向けて行った。	保護者向け研修を計画的に実施できるとよい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	保護者が集まる機会を計画している。	保護者同士で話したりつながったりできる機会を提供できると良いかもしれない。きょうだいも参加できる活動を企画できると良いかもしれない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	随時相談に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	LINEで連絡している。ニュースレターを発行している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	実績記録票の扱い方を変更した。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	それぞれの利用者に合わせて伝え方(絵や文字を使う、わかりやすい言葉を使うなど)を工夫している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		地域とどのように関わっていくのがよいか、検討できるとよい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的に各マニュアルの見直しや訓練を実施している。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	地震の避難訓練、水害の避難訓練、火災の避難訓練と、災害ごとに訓練をおこなうようになり、災害ごとの気をつけることの違いが明確になった。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4	マニュアルは策定しているが、食物を提供する機会がない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画に基づき、定期的に安全管理を行っている。安全に関する事案は速やかにスタッフ間で共有、対応している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	「安全計画」を教室入り口に掲示し、ニュースレターでも紹介している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットの記録をスタッフ間で共有し、ミーティングで全ての事案への対応策を検討している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に研修を行い、虐待防止のための対応策を話し合っている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0			